

# 福島衛生新報

毎月三回発行  
定価一部五錢  
福島縣平町長崎町五十六  
編輯長 佐藤興全  
兼印刷人 佐藤興全  
發行所 福島衛生新報社  
廣告料 一行三十錢  
場所指定 十錢増

## ウイタミンに就て

### 女は男より何故に

#### 多量を攝取するか

##### 薬劑士 山野邊東次郎氏談

ドイツの營養學者 ブールン 氏は人體内に於けるウイタミンの貯藏量は、男女によつて大變相違してゐると云ふことを最近發表してゐます。

則ち満一歳の雄牛の體脂肪中に含まれるウイタミンAは全歳の雌牛のそれの僅か十五分の一しか存在してない。

又人體では廿五歳の男子と、四十九歳の女子とでは、その比は丁度一對二の割合で、女の方が多いと云ふ。

それで、人體構成上に於ける諸元素成分の立場から申すなら云ふことによつて青春期になる

と女性のそれらの必要量は、男性に比して、ずつと増すので動物に於ても、妊娠し得る年齢までになると、雌のリン、カルシウム等の無機塩の必要は雄よりも増してゐる点は人間と同ふ如き最悪の状態であつた。

しかし、女性の方が男性よりも多く体内に持つてゐる。従つて其必要も多として一族一家の強硬

反對論を蹴り、平町三萬の町民氏は資性淡泊にして阿ず、驕らぬ爲に總べてを捨て、塵埃指定す、何人にも親愛さるゝ人格者請負人として町衛生の尖端に立である。今や人氣の焦点に立ち、人の嫌がる仕事を甘じて引つ、町會議員として立候補の曉請たのだと言ふ。

この尊い仁俠的犧牲心に依つて氏の如き不言實行の士が町會にさしにも猖獗を極めた傳染病も議席を有したる時こそ、生白き終熄し、三萬町民をして危惧の實業家と唱へる輩や、口噴黄き中より救ひ、惡臭粉々として鼻政治家共の恟々たるものがあらし、美しい町として發展の一路を辿らう。

## 次期町會議員として噂に上る

### 我が大平町の衛生の元締

#### 金成國雅氏の横顔

平町人口三萬、四千五百戸の平町の東北端。夏井川の清流を氏一家の尊い犧牲と仁俠の尊語毎日吐き出す塵埃大約一戸一貫背負ひて、鎌田橋畔に塵介燒却が秘められてゐる。

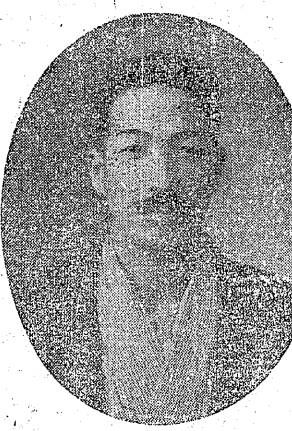
多平均と見て四千五百貫、この工場を設け、町内の隅から隅へ往時未だ平町は町として、よう塵埃を處理して平町を清掃し、と清掃夫を驅使して、至れり盡やく村に毛の生へた程度の頃の傳染病豫防に、公衆衛生に、其せりの衛生の實を揚げる處に氏語である。町として塵埃取扱の尖端に立つ人。誰かこの恩人の面目の躍如たるものがある。

出來ず、その處理方に困り果てに對して感謝せざるものなから筆者の聴く處に依れば、平町塵埃指定請負人となるについて、塵埃箱は山積する、傳染病は流

## 淋病最新藥

美神 一週分 四、五〇  
淋藥 二週分 八、〇〇

代理店  
平町 山野邊藥局



「町會に送れ」なる叫びの日増し高まるを聞く。

## 産婆看護婦募集

願書 四月八日迄(可成至急)  
修業年限 産婆看護科を通じ一年

## 平町一丁目

石城 産科婦人學校  
校長 鷹崎 千代  
電話 三五七番

## 産婆看護婦

## 生徒募集

今、入學好時期  
御希望の方ハ至急御申込ミラ  
新學期ハ四月八日ヨリ

## 平南町

電話 三〇七番  
校長 清野 キヨ

## 平陽女學校

文部大臣 附設 平陽家政女學校  
平町 電話 四四五番

- 一、八年度募集人員
- 本師範科 (修業二年) 五十名 授業料一、五〇
  - 技藝高等科 (同上) 三十名 一、五〇
  - 専攻科 (同上) 二十名 一、三〇
  - 技藝普通科 (同上) 二十名 一、五〇
  - 専修科 (同一ケ年以上) 五十名 一、〇〇
- 卒業生ノ特典  
本校本科、師範科卒業生ハ専門學校入學資格ヲ得ラレマス  
本校卒業生ハ小學校及補習學校教員トシテ多數採用サレマス。

入學手續  
志願者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月三十一日迄ニ本校宛提出下サイ。入學願書ノ受付順ニ依リ入學ヲ許可シマス。  
入學式ハ四月四日午前十時舉行。

## 藤田女學校生徒募集

- 一、本師範科 (二年卒業) 五十名
- 二、裁縫專修科 (二年卒業) 百名
- 三、師範科 (二年卒業) 三十名
- 四、専攻科 (一ケ年卒業) 二十名
- 五、本科專修科 (二年缺補編入) 若干名
- 六、選科 若干名

## 藤田女學校

福島縣平町田町  
電話 三二八番

